

昼の連続しないドラマ『ちむどんどん』 サブタイトルは先はワクワクしたいよね〜

※『ちむどんどん』とは沖縄方言で胸わくわくするの意『ちむどん』は先の意。

## 《第一部》第一幕 【一部、約20分】

ナレーション／

このお話は小金井市在住、七十六歳 女性、是唐千代さんとその子どもたちに突然訪れた「ピンチ」を「備え」に変えた、ちょっと変わった、でも、何処にでもありそうなSFホームドラマです。勿論、朝の連ドラ『ちむどんどん』とはストーリーも登場人物も全く関係のない、一回限りの連続しないドラマですので何卒、ご容赦ください。

あっ、それと何処にでも、とは言ったもののSFなので、そうそうあるお話ではありません。「ピンチ」は貴方や貴方の大切な人のまわりに、何処にでもあるというふうにご覧いただけたら幸いです。

最初に主な登場人物である是唐家の人々の紹介です。

(舞台上に登場人物が並ぶ)

母 / 是唐 千代 おおらかな性格だが、大ざっぱで楽道家ともいえます。夫に先立たれ現在は独り暮らし、コロナ禍で家族とも会う機会が減り、最近物忘れが心配。小金井市東町在住

長男 / 是唐 佐喜雄 母に似て楽天的、先のことはあまり考えたくない。地方の転勤先で家族と生活

長女 / 金納 素奈恵 しっかり者で兄とは正反対の性格。奥多摩に移住し家族と自然の中での暮らしを満喫中

次女 / 根貝 多満恵 家族思いの性格で、生まれ育った小金井が大好き。現在は小金井市貫井北町に夫と息子の3人で暮らす。この物語の鍵を握る人物で実は時間を巻戻す特殊な力を持っている。

(次女を残し、三人は舞台袖にて待機)

さて、コロナ禍であまり家族も実家に寄り付かず、それもよして、独りのんびり過ごす千代さん。お正月には3年ぶりに子どもたちが帰省し、家族4人が顔を合わせて過ごすことが出来ました。

時はそのちょっと先、2023年2月、雪が降ったある寒い日のことから始まりです。

(舞台中央の次女、携帯電話を耳にあて、慌てた様子からはじまる。

多摩で電話を受ける体裁で、舞台袖には長女が立つ)

次女

もしもし、素奈恵姉さん、母さんが大変！ 今朝、転んで救急車で日赤に運ばれたの。

長女

えーっ！ 母さんが！ なんてそんなことになったの？

次女

うん、買い物に出かけて駅前ところで滑って尻もち着いたって。圧迫骨折だって、しばらく入院することになりそう。とにかく入院生活に必要なモノそろえようと思って母さん家に来てるんだけど、電話で聞いても要領得ないのよ。そう、お正月の時も変だったでしょ。

長女

そうね、しめ飾りはクリスマスリースのままだったし、お雑煮はソース味。おまけに中年づらの佐喜雄兄さんに、お礼口さんにしてた一年のご褒美だってお年玉まで渡して・・・そうそう、兄さんったらおく目もなく懐にしまっちゃんたんで、姉さん怒ってたわね。

次女

それでね、着替えやら何やら、しまってる場所聞いてもチンプンカンプンだし、せめて、入院中の当座のお金を持って行ってあげようと、お金どこに置いてるか聞いても解かんなくて。キッチンテーブルの上に置きっ放しになってた財布み

たら、中身はずいぶん前のレシートとキャッシュカードだけ。カード番号も聞いたけど忘れたって言ってんの。

とにかく、私これから入院の準備するから、姉さんも来てくれる？ 兄さん金沢だし、いい加減だし、あんなだし、頼りになるの姉さんだけなの！

長女

ごめん、多満江。今朝の雪で、青梅までの電車止まってて、すぐにそっちいけないの……えっそうなの、私一人でどうしよう。

次女

こんな時は、地域包括に電話してみたら？

長女

そうね、高齢者の相談窓口って市報にも書いてあったよね。うんわかった、とにかく電話してみる。

次女

（次女、一旦、電話を切り、少し慌てた口調で地域包括に電話をかける。長女舞台袖から去る）

もしもし、小金井地域包括支援センターですか？東町に住む七十六歳の母のことで相談したいのですが。

実は今朝、母が転んで圧迫骨折をして日赤に入院することになったんです。着替えとか何やら必要なモノが何処にあるか本人チンプンカンプンで、おまけに当座のお金が必要とおもって、キャッシュカードやお金のおいてある場所を聞いても、忘れちゃってるみたいで、物忘れもひどくなってるみたいで、私どうしたらよいか……、お電話ありがとうございます。娘様まず、落ち着いてくださいね。お母さまが圧迫骨折で入院されたのですね。それに、物忘れも心配の事。

影アナ／包括A

まず、入院の準備についてわからない事があれば、病院の病棟看護師さんか相談員さんに訊いてみてください。入院中の

じつは其処でござんすと教えてくわゆるはぢや。入院後、落ち着きお医者様の見立てなど詳しく解ったら教えてくだわい。

物忘れのことも、これから一緒に見て行きましようね。この先、退院してお家に戻ってきたときは、私たちも病院や関係機関と連携しますので、ご相談に乗らせてください。

ただ、ゴメンナサイ。今すぐのお金に関しては、ご本人の権利に関わる重要なことなので、私たち地域包括ではお手伝い出来ないので。ひとまず、ご家族様で立て替えるなどしてご対応いただくのが良いかと思われます。お困りでしたらようが申し訳ありません。

次女  
えっそうなんですか……、わかりました、退院後のことはまたご相談します。

では……

(次女、電話を切りうなだれる)

ひとまず、当座のお金は立て替えるにしても、退院するときの入院費用はどうしよう。手術することになったら、もっとお金もかかるし。兄さんも姉さんも私のところもローンはあるし、まだ子どもたちにも入用だし。

あー、どうしよう！ どうしよう……

影アナ  
次女が多満江さん困った様子でしたが、時間を巻き戻す特殊な能力の事を思い出し、何か妙案が浮かんだようです

(次女、突然、観客に向かってうなだれた顔を上げ、妙案が浮かんだ様にひとこと)

次女

私には特別な力があつたんだ、そつだ、あの時に時間を巻戻  
せうー

『わちごんごんごん、ちむごんごんごん、わちごんごんごん、ちむごんごん  
ん………ん』

(呪文を唱え始め、時間を巻戻しているイメージで後ろ歩き  
に舞台袖に向かう、舞台袖に着くのに合わせて呪文もフェー  
ドアウト)

## 《第一部》第二幕

ナレーション／

時を遡ること、2023年お正月。

コロナ禍で3年間会えなかった是唐家の人々が、せめて親子だけでもと実家に集ま  
ってきました。

次女

『わちごんごんごん、ちむごんごんごん、わちごんごんごん、ちむごんごん  
ん………ん』

(呪文と共に是唐家の人々全員が向き合う立ち位置まで、時  
間を巻戻しているイメージで後ろ歩きに舞台に集まる。立ち  
位置に着くのに合わせて呪文終了)

母

あけましておめでうい

兄妹全員

あけましておめでういおめでとうございますー

長女

とこそで、母さん玄関のといろ……しめ飾りじゃなくて、  
クリスマスリース飾ったままだったわよ。

母

あら、いやあねーそつだったかしらっ？ そんなにとよめ、い  
ろやうって直接顔を合わせての正月は3年ぶり。皆さんとよめで  
何よめねー！ 変わりは無いっ？

長女 私は相変わらずの田舎暮らしを楽しんでるわ、でも、子どもたちは自然の中の生活楽しんでくれると期待していたけど、最近は家でインターネットとゲーム三昧。ふたりともこの春、中学、高校と進学なのにのんきなモノよ！ まあ、旦那と子ども、家族みんな元気が取り柄で過ごしてるわ。

次女 どのも一緒ね、うちは旦那までゲームにはまって大変よ！でもまあ、家族全員、コロナにかかることなくこれまで元気に過ごせたことは感謝だけだね！

母 佐喜雄、あんたのところはどうだい？

長男 みんな元気にやってるよ。おれは仕事も順調。家族も順調。血圧高めで塩分控えめ、早寝、早起き、あさのラジオ体操と、中年男の健康管理もバッチリさ！

母 早寝、早起き、あさのラジオ体操かい、佐喜雄はお利口だねえ。そうだ、佐喜雄にはお年玉あげよう。

(母、佐喜雄にお年玉を手渡し、長男は受取りさっさと懐に入れて)

長男 おっ、ありがたい、母さんありがとう、じゃあ遠慮なく！

長女 ちょっと、兄さん、なに年金暮らしの親から受け取ってるのよ、ホントなら兄さんから母さんに、お年玉渡す立場でしょー！

母 まあまあ、そんなことより、今年はおなた達が来るからよ、おせちも頑張って作ったから食べてちょうだい。

長男 おっそうだな、母さんのおせちも三年ぶりで、さっかへいっしょ食べてくれたんだ、いただきっ、いただきっ！……

んっ！ ！このお雑煮なんか変だぞ。

(言われて、長女もお雑煮を口にする)

長女

あら、これって……ソース味じゃない。

(母もつづいて、お雑煮を口にする)

母

あらやだ、なんで間違えたのかしら？

(次女、このタイミングを待っていたかのように切の出す)

次女

ねえ、母さん最近ちょっと物忘れとか心配なことは無い？

母

何言ってるの、きょうのお雑煮の失敗はたまたまよ！ 母さんだって、ボケちゃいられないから、さくら体操始めようとか、スマホ講座通ったり、お隣さんカフェに行って楽しもうかって考えてるんだから。

長男

おっ母さん、まだまだ意欲があっというねー！

次女

意欲があるのは良いけど、そうじゃなくてー！ 兄さんもっとと母さんのこと心配してよ。

長男

なにさせてんだよ、母さんはまだ元気だから、物忘れなんてもっと先の話。母さんは母さん。嫌なんだよ、母さんがどうこうなるのを考えるの。

母

そうね、私もまだまだ元気だから、あなた達に心配かけるほどボケてないわよ。大丈夫。

次女

でもね、今元気で先のこととは解らないし、備えあれば憂いなしって言うじゃないー！

長女

あっ、そういえば「」。来る途中、駅のラックにおいてあったから、母さんごとく持ってきたヤンだけ……

(長女が金銭管理に関するチラシを出すと同時に、チラシをプロジェクターで投影する)

次女

わあ、素奈恵姉さん、なんてグッドタイミング！「しーしー！」

長女

うん、何となく気になって……

次女

とにかく母さんも、兄さんも一緒に見て！

(投影されたチラシ事例を基に※のアドリブを展開)

長男

なになに『高齢者になるという』ことを理解する『なんてかいてあるけど……』

長男

※『高齢になるという』について理解する『チラシ事例からじゃあこっちの』私たち、こんな備えをしています』なんてのは……

長男

※『私たち、こんな備えをしています』チラシ事例から

はあ、なるほどね。

次女

ねえ、やっぱり備えは大切よ、母さん何かやってる？

母

考えてもなかったわ、そうね、何かしておかなくちゃね。

長女

私達も多満恵みたいに、いつもそばにいるわけじゃないし、いざとなった時に、近々の多満恵にばかり負担かけても悪いし。それに一番困るのは母さんだから、兄さんも一緒に考えてよ。

長男

そうだな、母さんが老けていくことを認めたくなくて、考えることを先送りしていたよ。でも、転ばぬ先の杖は必要だよな。『家族や親類で話し合いをしておきましょう』ってかい



てあるし、せっかく正月でみんな集まったんだからちょっと話し合ってみないか？

母

そうね、ちょっと話してみるか。

(最初、自分はまだまだ大丈夫と言っていた母も備えなくて  
はと、是唐家の家族会議が始まる)

※《家族や親類で話し合いをしておきましよう》の是唐家バーショ

ンが始まる……

長女

それじゃ、お金のこと。母さん自身はどうしたいか。

次女

まさかの入院の時はどうすれば良いか。どうしてほつるか。

長男

怪我や入院保険はある

長女

通帳や印鑑の管理。カード番号が自分で判らなくなったとき  
は。

次女

公共料金の支払い方法はどこにしているか。

長男

貯金や年金は今どうなってるか。返さなくてはいけないお金  
はないか。

長女

日常のお買い物はどうやってしてるのか。今後に備えどんな方  
法があるか。

……

(話し合いの声が次第にフェードアウト、身振り手振りのみ  
じ変化。すしし会話にかぶせるようにナレーションが始まる)

ナレーション／

無事、是唐家でも千代さんじじいじいのじわからの話合いが始まったみたいですね。

健康や認知症と同時にお金の管理の備えや予防も大切です。でもお金のことは解決

が難しい。是唐家の様に家族や信頼のおける身近で親しい人と、いざという時の為に、話し合いを日常的にしておくことが、ピンチを招かない予防の第一歩。住み慣れたこのまちで、この先もワクワクして楽しく暮らしていくために、皆さんも話し合ってみてはいかがでしょうか？

この話はこれでおしまい。最後にもう一度、是唐家の出演者紹介です。

ちょっと先を備えたまえ（千代と佐喜雄、素奈恵、多満恵）のみなさんです。

母 / 是唐 千代 役、 ○○○カフェ ○○○さん

長男 / 是唐 佐喜雄と影アナ包括 役 ○○○包括 ○○○さん

長女 / 金納 素奈恵 役 ○○○包括 ○○○さん

次女 / 根貝 多満恵 役 ○○○包括 ○○○さん

ナレーション 私、小金井市 介護福祉課 ○○○でお送りしました。

## 《第一部》 【二部で、約40分】

振り返りのアフタートーク概要

### 《司会》

さて、此処からは、ステージ上の○○さん達や会場の皆さんにもお話を伺っていきますね。

- 感想
- 自分でも、すでにやっている話
- 家族と金銭管理のことで話をしている人はいますか？  
などなど、ステージ上と会場に話を振る……

### (おわりの挨拶)

如何だったでしょうか、本日、皆様にお伝えし、お願いしたかったことは……、高齢になればなるほど、健康・人間関係・経済状況など暮らしを取り巻く環境は変わりやすくなります。機会を見つけて都度つど、身近な人と話し合い、備えをすることを願います。もし、相談相手がおらずお困りでしたら、まずは地域とのつながりを作り、身近な人を増やしませんか？ 日常のちょっとした暮らしの備え、そんな困りごとを一緒に考えるお手伝いを市役所も地域包括もしたいと考えています。これからも住み慣れた小金井で『お互いさまのまちづくり』を一緒に目指して頂きますようお願いいたします。

本日は、したないお芝居にお付き合いました、本当に有難うございました！